

あつた はまます
厚田・浜益の山

石狩市の厚田・浜益地域には、17座の山があります（※ここでは国土地理院2万5千分の1地形図に名称が記載されている山および「浜益10名山」で紹介されている山）。いずれも増毛山地に含まれ、標高1000mを超えるものも6座あります。

増毛山地は北側の暑寒別山地と南側の樺戸山地とに分けられます。そのほとんどは新生代新第三紀（2300万年前～260万年前）の火山活動によって形成されたため、高い山々が多く見られます。それに対して樺戸山地の南部は主に同時代の堆積岩からできており、目立った山はありません。

石狩市最高峰は群別岳（1376.33m）です。晴れた日には、札幌からも暑寒別岳（1491.59m）と並んだ姿を見ることができます。（志賀健司）



山名	標高 (m) *1	山体の地質*2	地質の時代*3
雄冬山	1197.66	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
浜益御殿	1038.71	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
浜益岳	1257.78	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
群別岳	1376.33	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
尾白利加岳	1346	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
幌天狗	1222.05	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
知来岳	988.03	△安山岩質溶岩	鮮新世～更新世
黄金山	739.11	△岩脈（安山岩）	中新世
丸山	467.64	△岩脈（安山岩）	中新世
摺鉢山	169	△安山岩質溶岩・火山角礫岩	中新世
幌内山	648.79	△安山岩質火山角礫岩・溶岩	中新世
別狩岳（別狩岳*4）	726.15	◎粘板岩	時代未詳
円錐峰	690.15	△安山岩質溶岩	中新世
濃昼岳	621	△安山岩質溶岩・火山角礫岩	中新世
別狩岳（二番川*4）	666.19	◎粘板岩	時代未詳
安瀬山	654.19	△安山岩質火山角礫岩	中新世
阿蘇岩山	417.99	△玄武岩	鮮新世

※1 頂上に三角点のある山の標高は小数第2位まで示した。

※2 △：火山活動による岩石 ◎：堆積岩

※3 時代名と年代

□ 更新世（新生代第四紀） □ 260万年前～1万年前

□ 鮮新世（新生代新第三紀） □ 530万年前～260万年前

□ 中新世（新生代新第三紀） □ 2300万年前～530万年前

※4 同じ山名が2つあるため（ ）内に三角点の名称を示して区別した。

(1) 工業技術院地質調査所5万分の1地質図幅（個別の図幅の記載は省略）。

(2) 浜益村（2002）浜益10名山／第1回～第10回。浜益村広報，vol.519-528。

(3) 加藤誠・勝井義雄・北川芳男・松井愈（1990）日本の地質1／北海道。共立出版。